

## 目標達成計画

作成日: 平成 23年 3月 14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	ホームの理念の中が地域密着型サービスの意義を踏まえたものではない。	ホームの理念の中に地域密着型サービスの意義を踏まえた項目を追加し、ホームを地域に密着したサービス拠点として、地域と連携して介護力を高めていく	ホーム内会議の中で地域密着型サービスの意義や目的を話し合い、ホームの理念に付け加える。またどのように実践していくのかも話し合い実践計画を作成する。	3ヶ月
2	4	運営推進会議が年間2回しか開催されていない。	運営推進会議を年間4回開催する。	運営推進会議のメンバーが出席しやすいように工夫し、開催回数を増やし運営推進会議が施設運営上必要な意見交換の場として定着させる。	12ヶ月
3	30	ホームでは、終末期のあり方について準備を始めましたものの、現段階ですべての利用者からの終末期についての希望や意向の聞き取りを行っていない。	利用者からの終末期についての希望や意向の聞き取り、主治医や医療機関との連携を図りながら支援面での意識の共有化を図れるようにし、終末期の支援を行えるようにする。	入居時に利用者、家族に重度化した場合における対応や、終末期のあり方についての指針や説明を十分に行い、早い段階で意向を把握し書類の整備を行い、更にホーム全体として終末期への研修を行っていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。